



消防団

瑞穂町消防団だより

令和8年2月
第26号

発行:消防団広報誌編集委員

3月1日～7日は

春の火災予防運動 期間です！！



西多摩地区消防操法大会



消防団出初式



上級救命講習会



瑞穂町産業まつり

瑞穂町産業まつり

令和7年11月8日(土)・9日(日)の2日間、毎年恒例の【瑞穂町産業まつり】が開催されました。日曜日はいにくの空模様でしたが、両日とも多くの方が来場され大いに賑わいました。

会場では、グルメの模擬店、新鮮野菜の販売、おもちゃの病院をはじめ、ステージでは演奏やお囃子が披露されるなど町の魅力が詰まった楽しい2日間となりました。

消防団ブースでは、消防車の展示・乗車体験、防火服を着ての記念撮影、輪投げコーナー等を実施しました。親子連れはもちろん友達同士やお子さんだけで訪れる姿も多く終日大盛況となりました。また、消防団員募集のチラシを設置し消防団の活動を知っていただく機会になりました。

当日は、福生消防少年団の団員さんも遊びに立ち寄り、輪投げを楽しみなど和やかな交流の場になりました。

これからも消防団活動の周知・理解が得られるように広報活動をしていきたいと思えます。

(担当 4分団)

ポンプ車乗車

記念撮影

輪投げ



西多摩地区消防操法大会

令和7年11月2日(日)学校法人日本航空学園 東京青梅キャンパス(旧明星大学青梅キャンパス)にて第35回西多摩地区消防操法大会が開催されました。大会は西多摩地区8市町村の青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村、計8隊(自動車ポンプ操法の部)、瑞穂町の代表として、今年度第2町営グランドで行われた瑞穂町ポンプ操法審査会にて総合優勝した、第2分団が出場しました。

この審査会は、士気、規律の状況、迅速な行動、確実な動作、消防用機械、器具の取扱技術とその愛護、安全管理を審査する目的に行われています。

第2分団は、町の大会を終えた後も、約3ヶ月にわたって厳しい訓練を重ねて来ましたが、残念ながら入賞することはできませんでした。

夜間の訓練に伴いご近所の皆様には、ご理解を大変ありがとうございました。また、町長をはじめとし激励、訓練指導等をしていただいた方々に感謝申し上げます。

(担当 2分団)



上級救命講習会

令和7年度では、10月に2回、2月に1回の計3回、上級救命講習会を役場庁舎内の会議室にて行いました。

瑞穂町消防団では令和3年度から普通救命講習から上級救命講習に移行しました。講習内容は、これまで学んでいた心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方に加え、小児・乳児に対する心肺蘇生法や、三角巾を使った外傷の手当て、止血法、体位管理法、搬送法などを学びました。実技講習では、人形を要救助者に見立てて実際の現場を想定し、心臓マッサージからAEDを使い救急車が来るまでの一連の流れを学びました。現在では、より心臓マッサージの重要性が高くなっております。

参加した団員たちは、講習の最後に筆記試験をして合格しました。合格すると上級救命技能認定証が交付され、心肺蘇生法やAEDを使用した技能取得者として認定されます。この認定証には3年の有効期限があり3年後には更新の講習を受けます。

今回習得した知識や技能をもとに、消防団活動や日常生活でも傷病者が発生した際には積極的に行動ができるようにしていきたいです。

(担当 3分団)



歳末特別警戒

令和7年12月25日(木)～30日(火)にわたり瑞穂町内で歳末特別警戒が実施されました。期間初日には、第1分団の詰所にて、副町長、福生消防署長をはじめとし、激励のお言葉をいただき、あいにくの雨の寒い夜になりましたが、気を引き締めて警戒活動を行いました。

平年に比べ、暖かい日もありますが、寒くなったこの季節は、暖房器具といった、火を使う機会が増え、加えて乾燥や風が強くなり、火災の原因は身近なところに潜んでいます。また、電源コードの劣化などにも注意が必要です。

わが分団では、消防団活動をアピールする目的で、管轄地区での広報活動を、ポンプ車から団員自らマイクを持って、肉声で声掛けを行っています。慣れていない人が多いため、たどたどしい広報となる事もありますが、そこは、ご愛敬お願いします。皆様方に、大変お騒がせしていますが、火災を防ぐ意味では、日々の呼びかけから町民の皆様の生命、財産を守り、そして、安全、安心な町へと繋げるよう日々活動してまいります。

昨年(令和7年)は、瑞穂町内での火災が、16件でしたが、令和8年は、広報活動を通じて、火災の発生を少しでも減らしていきたいです。今後も、消防団活動のご理解をよろしくお願い致します。

(担当 1分団)



文化財消防演習

令和8年1月25日(日)、石畑地区の御嶽神社にて文化財防火デーに伴う消防演習が実施されました。

当日は神社関係者の方々や地域住民の皆様ご協力の元、福生消防署・第3分団・第5分団の合同で本殿への出火を想定した一斉放水訓練が行われました。

文化財防火デーとは、文化財の保護に関する意識を高め、文化財を火災や地震などの災害から守るための運動として、昭和24年1月26日に法隆寺金堂で発生した火災を教訓に、昭和30年1月26日に制定されたものです。

貴重な建物を失わないためにも、地域住民の方には火の元に十分注意していただく心がけが必要となります。

消防団としても、このような演習を行うことで各機関との連携を深め、災害意識を高めて消防団活動に努めてまいります。

(担当 5分団)



瑞穂町消防団出初式

令和8年1月11日(日)、新春恒例の消防団出初式を町営第2グラウンドで開催しました。当日は風が強く吹く日でしたが、冬の澄んだ青空の下で行う各分団による一斉放水の迫力は見事でした。色鮮やかなカラー放水が青空によく映え、水しぶきの中に美しい虹が見えるなど、新年の幕開けにふさわしい光景となりました。

また、式典に先立ち町内を巡った消防車両パレードでは、沿道からたくさんの方々に手を振っていただき、気が引き締まる思いでした。

毎年1月に開催しているこの出初式は、地域住民の皆様に消防団の活動を直接知っていただく貴重な機会です。迫力ある放水やパレードを楽しんでいたかと同時に、火災予防の大切さを身近に感じていただき、防火意識の向上につながることを願っています。

今後も防災啓発活動や消防団・消防署との連携強化を通じ、安全、安心な地域づくりに貢献していきます。

今後も地域の方々と支え合いながら消防活動を行っていききたいと思いを。よろしくお願い致します。

(担当 本部)



消防団員募集!

自分の町、大切な人を守るため、地域の防災の為に、あなたの「チカラ」が必要です!!

条件

- 在住又は在勤者
- 18歳以上
- 健康な方



第5分団の新しい消防ポンプ自動車

広報誌編集委員

本部	高橋洋一	副団長	村上竜一	副団長
1分団	清水久央	部長	澤田祐介	部長
2分団	山田太一	部長	原島将太	部長
3分団	金ヶ江翔大	部長	古川一仁	部長
4分団	濱本賢吾	部長	高橋 奨	部長
5分団	田中寿幸	部長	山中祐樹	部長

消防団事務局(役場 安全・安心課内)

☎ 042 (557) 7610

QRコード



メールアドレス
mizuho.saigai
@mpme.jp

災害情報メール配信
町では町民へ災害や火災が発生した時にメールの配信を行っています。左のQRコードを読み取るかメールアドレスでご登録をしてください。